

法定協をめぐるこの間の主な動き

	橋下・維新の動き	共・公・自・民の動き
1月31日	第13回法定協で、橋下市長が提案した区割り案の絞込みを維新以外の反対で否決。浅田会長が第14回法定協を2月12日に開くことを確認	
2月3日	橋下市長が辞職表明	
2月7日	浅田会長が第14回法定協の開催延期を各会派に通知	
2月10日		浅田会長に14回法定協を予定通り開催するよう要請（浅田氏は拒否）
3月23日	橋下市長が出直し選で再選	
3月28日	橋下市長が浅田会長に委員差し替えを要求	
6月9日	浅田会長が共産、自民、民主系委員の差し替えを求める文書を送る	
6月19日		4会派委員が浅田会長に代表者会議開催を要望
6月24日	浅田会長が府議会議長に委員差し替えを要請	
6月25日	浅田会長が大阪市議会議長に委員差し替えを要求。維新府議3人が離党届を提出	大阪府議会の維新以外の全議員が臨時議会を開くよう松井知事に要請
6月27日	府議会議会運営委員会で自民、民主委員の差し替えを強行	浅田会長に辞職申し入れ
6月28日	維新全体会議で、橋下市長が「大阪都」構想の協定書を「7月中に完成させる」と発言	
7月1日		大阪市議会の維新以外の全議員が臨時議会を開くよう橋下市長に要請
7月2日		大阪市議会運営委員会で、法定協に委員を推薦しないことを賛成多数で可決

— 府議会で過半数に届かない維新は、浅田均法定協会長の要請を

道理尽くしし正常化へ全力

何重にも暴挙重ね

受けて、多数を占める 協から自民と民主を維
議会運営委員会で法定 新に差し替えを強行し
ました(6月27日)。
「虚構の多数」による
暴挙ですが、大阪市議
会の動きは。

日本共産党大阪市議団 山中幹事長に聞く

法定協「反対派」排除

維新の「クーデター」

「都構想」強行へ暴走加速

橋下・維新の会の暴走が止まりません。「大阪都」構想の設計図(協定書)を協議する大阪府・大阪市の特別区設置協議会(法定協)から反対派を排除するなど、議会のルールも踏みにして突き進み、「維新のクーデター」だ(大阪市議会関係者)との声も。この事態をどうみるのか、これまで法定協の議論に参加し、他会派との「一点共闘」の前進に尽力してきた日本共産党大阪市議団の山中智子幹事長に聞きました。



法定協の浅田会長の辞職を申し入れる4会派の代表者。左から4人目が山中氏＝6月27日、府庁内

山中 無法な暴走に対して維新以外の共産、公明、自民、民主系の4会派は道理を尽くして法定協の正常化を追求してきました。

法定協はことし1月末の第13回の会合で区割り案の絞り込みが否決されたことで、橋下市長らが一方的に議論を打ち切ったのを最後に、半年にわたって開かれてきませんでした。4会派が繰り返して開催を求めてきたにもかかわらずです。

浅田会長は法定協の議事録を「調査」した結果、私や自民、民主系の委員が「大阪都」構想の是非を論じる「入り口論」に終始しており、

文書を送るなど、法定協会長の職務職責を果たしていないとして、浅田会長に辞職を求めました。民意を反映した法定協の構成にするために、会派の議員数に応じて委員を割り当てる条例を制定するため、市議会として

は臨時議会の招集を橋下市長に要求。また府議会での二重三重の暴挙を受けて、市議会の議運では、法定協が正常化されるまでは委員を推薦しないことを決めました。

設計図耐えられぬ

— 暴走の背景には何があるでしょうか。山中 橋下市長と松井知事は、昨年8月に協定書のたたき台となる「パッケージ案」を示しましたが、法定協の議論を通じて大阪市を解体してつくる特別区は、とても基礎自治体といえないものになることが明らかになりました。

「規約違反」だとして委員差し替えを求める文書を送ってきました。私たちは、制度設計案を住民の立場から分析・検討して発言してきました。「調査」で「問題なし」とされた公明党の委員もこの間、「この方たち(共産・自民・民主系)の意見で議論が深まった。勉強させてもらった」と述べているほどです。

「規約違反」とは浅田会長の私見・独断です。これまで法定協を開いてこなかったばかりか、委員の差し替えで一方的に

文書を送るなど、法定協会長の職務職責を果たしていないとして、浅田会長に辞職を求めました。民意を反映した法定協の構成にするために、会派の議員数に応じて委員を割り当てる条例を制定するため、市議会として

は臨時議会の招集を橋下市長に要求。また府議会での二重三重の暴挙を受けて、市議会の議運では、法定協が正常化されるまでは委員を推薦しないことを決めました。

「大阪都」構想の問題点を住民の皆さんに知らせ、橋下・維新の会の暴走を阻止するために4会派の共同をさらに強め、あらゆる知恵と力を尽くしたいと思います。

共同さらに強めて